

大正八年六月十四日

警備局長

主筆 書記官

書記官

臺灣總督府官制中改正ノ件  
審査報告

謹テ今回御詔詢、臺灣總督府官制中改正ノ件  
ヲ審査スルニ本案ハ同府、部局ヲ改廢シ其ノ職員

定員ヲ増減セムトスルモノニシテ其ノ條項及理由ノ要旨

ハ左ニ列挙スル所ノ如シ

第一部局ノ改廢

(一) 民政部、地方部及學務部ヲ廢止シ其ノ事務ニ

水利及土木ニ関スル事務ノ一部ヲ併合シテ民政

部ニ内務局ヲ新設シ民政部、警察本署ヲ

警務局ト改稱ス(第十七條第一項)是レ警

察以外ノ地方行政事務ノ進捗ニ資シ且勤モス

レハ警察事務一範圍過大ニ米スル弊ヲ矯

下一般地方行政事務トヲ混淆スルノ

メムトスルノ趣旨ナリト云フ

此、改正、結果民政部、組織令掌<sub>ニ</sub>署ト稱スルモノ

ナク又其ノ部ハ一ニ止マリ各局署ト云ヒ各都ト云

フノ稱呼安當ナラサルニ至リシカ故ニ此等ノ稱呼

ヲ掲クル數多ノ條項ニ改正ヲ加フ(第十八條、第

二十條、第二十三條、第二十四條、第二十五條、第二十

七條)學務部ヲ廢シテ内務局ヲ置クニ伴ヒ改正

ヲ要スル條項アリ(第二十六條ノ二、第二十六條ノ三、

第三十一條ノ二、第三十一條ノ三)警察本署ヲ改メ

テ警務局ト為スニ伴ヒ亦同シ(第二十六條、第二十

九條ノ二、第三十一條)以上總テ字句、改竄ニ外ナラ

ス

(二) 民政部、通信局ヲ逓信局ト改稱ス(第十七條第

一項) 是レ同局、所掌事務ニ海事ヲ包含シ通信

局ノ名稱稍、適當ナラサルノ感アルニ由ルト云フ又

此、改正ニ伴ヒ字句、改訂ヲ要スル條項アリ(第三十

第十七條第二項)

七條ノ三

(三) 新ニ殖産局ニ獸疫血清製造所ヲ置キ獸疫血清ノ

製造及配付ニ関スル事務ヲ掌ラシメ(第十七條第

三項) 其ノ名稱及位置ハ臺灣總督ヲシテ之ヲ定メ

シム(第三十一條ノ四) 是レ從來地方廳ヲシテ該事



務ヲ掌ラシメタルモ自今本府自ラ之ニ當ルヲ便トス  
ルニ由ルト云フ

### 第二職員定員ノ増減

(一) 警視總長、官ヲ廢シ(第十九條) 警務總長ノ職  
ヲ置キ 警務局長ヲ以テ之ニ補シ 警務局長ハ上

官ノ命ヲ兼ケ其ノ主務ヲ掌理シ局中各課ノ事務ヲ  
指揮監督スル、外警務總長トシテ上官ノ命ヲ兼

ケ警察及衛生事務、執行ニ関シ廳長及警察官

ヲ指揮監督スルモノトス(第二十二條) 警務局長ニ附

從來ノ例ヲ襲ヒ

スルニ 警務總長ノ職名ヲ以テスルハ内外ニ對シ

其ノ事務ノ執行ニ便ナラシムル為ナリト云フ此ノ改

正ニ付テモ亦字句ノ改訂ヲ要スル條項アリ(第二

十六條)

(二) 稅務官ヲ改メテ財務局事務官トシ(第十九條)

財務局ニ屬シ上官ノ命ヲ兼ケ同局ノ事務ヲ掌

ルモノトシ(第二十六條ノ四) 稅務ノ外會計検査事

務ニ當ラシム

(三) 其ノ他内務局及警務局<sup>新設</sup>一<sup>部</sup>、<sup>新設</sup>結果局長二人、戸

籍事務及教育事務ノ為事務官二人、警察飛

行班設置ノ為警務警視一人、教育事務ノ為

視學官一人、會計検査事務、為財務局事務官

一人、獸疫血清製造事務、為技師一人、海事行政

事務、為海事官一人ヲ増加シ又各般事務、為

屬十九人、警部八人及技手七人ヲ増加シ保安林

事務整理、結果技手一人及視學官増員、

結果視學二人ヲ減少シ差引屬以下判任官通

シテ三十一人ヲ増加ス（第十九條）

按スルニ以上諸點、改正ハ畢竟諸般事務、改善ヲ

圖リ其、増進ニ應スル、目的ニ出テ別ニ支障、塵ナ

キモノト認メラルルニ付本案ハ此、儘可決セラレ然ルヘシ

ト思料ス

右謹ニ審査ノ結果ヲ報告ス

大正八年六月十四日

書記官長

議長 宛

大正八年六月廿二日

委員長 宛

委員

西 田 爲 高

獨逸國等ニ屬スル財産管理ノ件審査報告